

## チャート塾実戦編

この情報は 2002 年に有料コーナー内に掲載した情報です  
ひとつのテキストとしてご覧下さい

### 第 4 回 7964 セ ガ

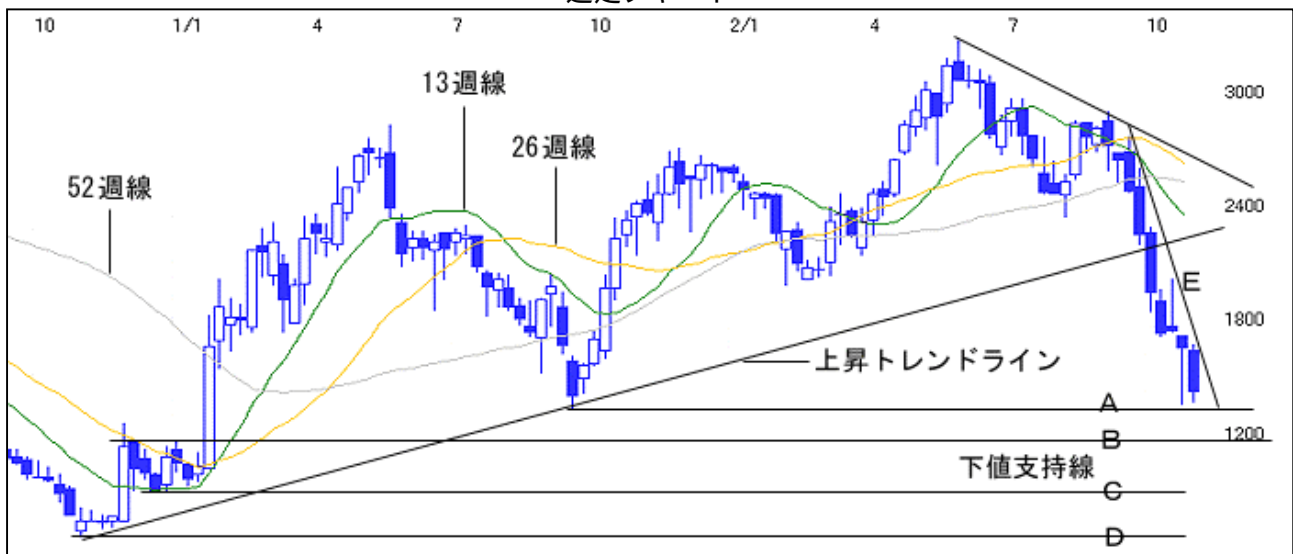
業務用ゲーム・AM施設の最大手、家庭用ではソフトに特化し各社ハードに供給、CSK傘下

【業績】	売上	営業利益	経常利益	利益	1株益(円)	1株配(円)	1株株主資本
連02.3	206,334	14,201	12,471	-17,829	-119.2	0	548
連03.3予	220,000	22,500	21,500	19,000	122.5	0	
連04.3予	240,000	26,000	25,500	20,000	129.0	0	

### 【週足基本分析】

約2年に及ぶ株価の上昇もチャートの的には上昇5波終了後(チャート塾第3回エリオットの波動原理参照) 株価は移動平均線を下回り、移動平均線で売りシグナルとされるデッドクロスを示現し、上昇トレンドラインを下回った事で一旦終了となります。今後のポイントはどの水準で下げ止り、反発に転じるのかとなる訳ですが、最初に意識される下値支持ラインとしてはAライン(1375円)水準となります。そこを下回ればBライン(1200円)水準が次の下値支持ラインとなります。下落の速度が速い事からA~Bのゾーンが下値支持ゾーンとして機能する可能性が高いと思われませんが、短期の下降トレンドラインEを突破するまでは下値支持ラインC(940円前後)・D(700円前後)付近への下落の可能性は否定できません。(C・D付近への下落があれば絶好の買い場)。短期の下降トレンドラインEを突破すれば、戻り相場になる可能性が高くなりますので、短期の下降トレンドラインEを突破出来るかどうかが今後最大のポイントとなります。突破を確認できれば短期リバウンド狙いの買いのタイミングと考えて良いでしょう。但し基本トレンドは下降トレンド下にありますので、長期保有ではなくて、ある程度戻れば早めの利食いが基本となります。

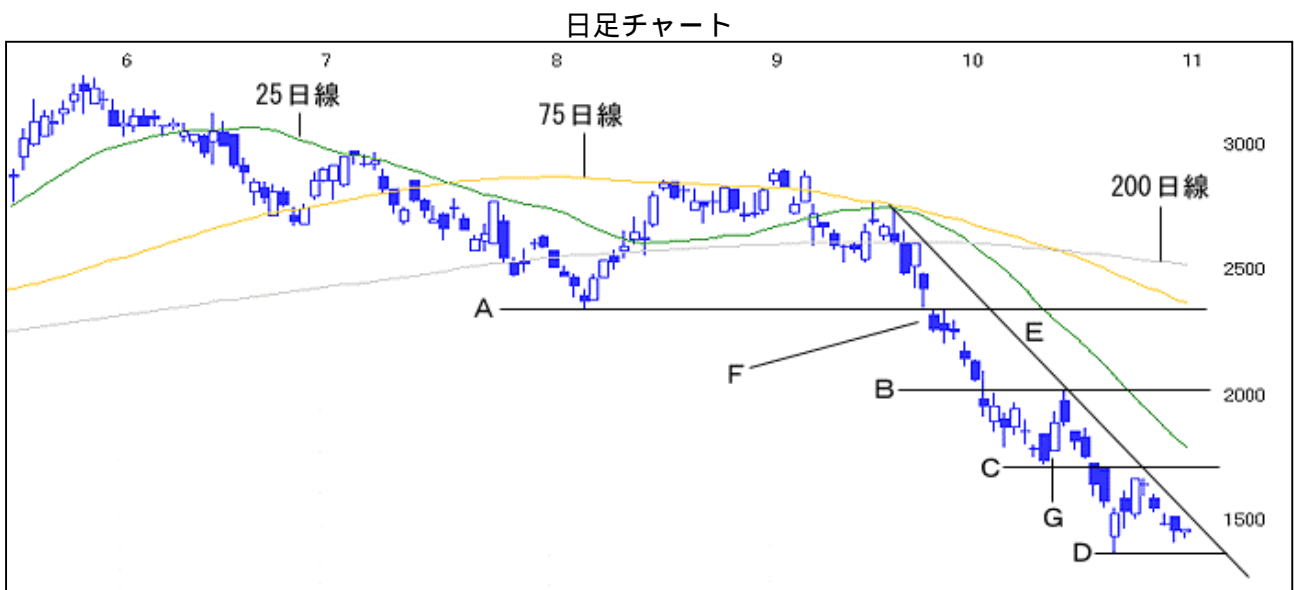
週足チャート



## 【日足チャートからの短期見通し】

日足チャートで見ると、株価はAの下値支持ラインを下回った事から（Fの所）下げが加速し、その後小幅の戻りを入れては上値のフシ（Bライン・Cライン）を形成する形となっています。これらのフシは今後株価がリバウンドに転じた時には上値抵抗線として株価の頭を押さえると考える事が基本となります。Gの所に注目してほしいのですが、下げ途中でのローソク足2本組み合わせで「たすき線」が出現していますが、下げ途中での「たすき線」出現は戻り売りのタイミングとなりますので、カラ売りをする方は是非「たすき線」をマスターしてほしいと思います。

今後のポイントとしては、下値支持ラインDを下回るのか、短期の下降トレンドラインEを上回るのか、注目となります。下値支持ラインDを下回れば更に下値模索が続く事になりますし、短期の下降トレンドラインEを上回れば短期のリバウンド相場の可能性が高くなります。仮に短期の下降トレンドラインEを上回ることが出来れば、戻りを試す展開になりますが、その場合、まずCラインが上値の抵抗ラインとなります。この水準には丁度25日線も位置していますので、かなり上値の重い展開が想定出来ますが、その分この水準を突破出来れば、Aライン付近への戻りの可能性も出て来ますので、Cラインと25日線が位置する1700円～1800円のゾーンを突破するかどうかは今後重要なポイントになりそうです。突破出来れば中期的にはAライン（2300円台）付近への戻りの可能性も出て来ますし、突破出来なければ暫くDラインを下値支持線としたボックス相場の可能性が高くなります。但しDラインを下回れば下ブレの可能性があるので、注意が必要となります。現段階ではこの三角保ち合いを上下どちらに抜けるか様子見と考える事が基本となります。相場の基本としては放れた方に付く事が基本となりますので、リスクが取れる方は、上に抜ければ短期リバウンド狙いの買いとなりますし、下に抜ければカラ売りのタイミングと考える事が基本となります。



この情報は2002年に有料コーナー内に掲載した情報です  
ひとつのテキストとしてご覧下さい